

鑑賞シートについて

鑑賞シートとは、子ども達が主体的に美術作品をみるために、さまざまな工夫がされた学習のためのプリントです。

これは、ゲーム感覚で展示室をまわりながら作品への観察を深め、そこから文化・芸術を自分の眼で鑑賞する楽しさや作品への理解を促します。

また、自分たちが感じたことを表現することがこの鑑賞シートの目的です。

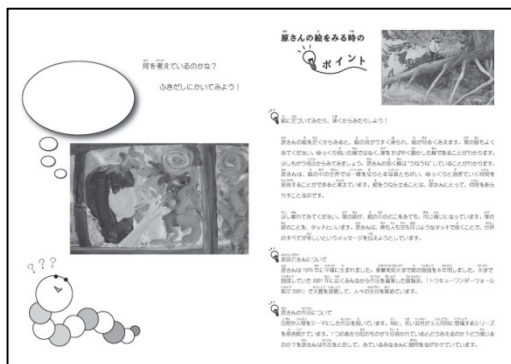
団体見学等で鑑賞シートを教員の方が作成する場合、事前に美術館から情報を提供いたします。美術館教育普及担当までご相談ください。

例：「＜原良介～絵画への小径～＞ワークシート」

平成 24 年、＜原良介～絵画への小径～＞展の鑑賞用ワークシートを作成しました。これは、小学校 4 年生と 5 年生が使用しました。子ども達は作品探しのゲームのあと、自らが選んだ絵をスケッチしたり、感想を書いたりしました。プログラムの最後には、教育普及担当者による作品解説がありました。

指導目標としては、積極的に展覧会を楽しむこと、作品の色やかたち、描き方、大きさを感じ取ること、自分の考えを表現することがあげられます。

子ども達は、美術館で絵画作品を見ることで、本物を見ることでしか得られない体験をしました。



茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校鑑賞の様子

